

事務事業名		ふるさと学習推進事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		生涯学習・スポーツ課		H28係等名		地育力向上係		H27係等名		地育力向上係		
基本計画上の位置づけ		政策 2		地育力によるこころ豊かな人づくり		施策 22		開始 25		終了		
目的	対象(誰・何を)	小学生、中学生		対象指標	指標名及び単位		27年度数値					
	意図(どういう状態にするか)	ふるさとを知り、愛着と誇りを持ってもらう			飯田市立小中学校数		28					
	向上させたい上位施策の成果指標	キャリア教育、体験活動により、自分の生活を見直すことのできた生徒の割合:%										
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	小中学校におけるふるさと学習の支援校数		28	28	28	-					
	定性目標											
事業概要	<p>・地育力向上連携システム推進計画【改定版】の取組みの重点ポイントの一つとして、ふるさと飯田を知り、ふるさと意識を醸成する「ふるさと学習」の推進を位置づけている。本事業では、教育委員会職員がコーディネーターとしての役割を果たしながら、小中学校において、地域資源と地域の人に触れ体験的な学びを行う「ふるさと学習」の推進を図る。</p> <p>・ふるさとを理解するため、また地域の一員としてふるさとの将来を考えられるようにするため、地域の自然、歴史、文化、産業など、また地域づくり、防災、福祉、環境などを地域の方から学べるような内容として全小中学校にて取り組み、ふるさとを愛する心を育む。また、社会奉仕活動、フィールドスタディ、まちづくり組織等への提言などにも取り組めるようにする。</p>											
事業内容				名称				活動指標				
27年度事業内容	1 小・中学校におけるふるさと学習の実施支援(コーディネート、経費助成)				1				1			
	(1)各教科、総合的な学習の時間、特活等で地育力を活用した学習を支援				(1)支援校数				(1)28校			
	(2)市内小中学校教員の地域研修				(2)支援校数				(2)28校			
2 ・ふるさと学習を支援する市民研究団体との協働会議				2 協議会議開催数				2 1回				
・伊那谷研究団体協議会等との懇談・学習プログラムの企画等				3 情報提供した学校数				3 28校				
3 学習情報の発信												
・ふるさと学習に関するテーマ、支援人材等に関する情報の収集・整備・学校への提供												
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		1,437	1,553	1,471	1,572	(そ)ふるさと寄附金						
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他		50		1,358								
一般財源		1,387	1,553	113	1,572							
人件費計(千円)②		1,788		1,788								
正規職員所要時間		500		500								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		3,225	1,553	3,259	1,572							
事業内容・目標達成状況の振り返り	ふるさと学習をより効果的な内容とするために、交付金申請の際計画内容を確認し、地域の事を知る・学ぶ内容となっていない場合は社会教育指導員から指導するようにしている。また、学習の参考としてもらうため地域資源紹介リスト及び手引書「ふるさとを愛し誇りに思う子どもたちに」を当係ホームページ「地育力どっとネット」へ掲載している。											
改革改善の考え方	①問題点	多くの学校で地域を意識した学習が行われるようになってきた。しかし、「地域の方に来てもらう」ことがふるさと学習という認識の学習も見受けられ、「地域を知る・学ぶ」内容での学習となるよう意識づけが必要である。										
	②改革提案	地域を知る・学ぶ活動とするために、教頭会での説明だけでなく担当職員を対象とした研修会も検討したい。また、交付決定時に各学校への意識づけとして、意識してもらいたい点を直接説明するようしたい。										